



Blue　Sky　Elementary

５年生用

年間指導計画（例）

**Contents**

1単元別指導計画

Pre Unit・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

Unit 1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3

Unit 2・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・4

Unit 3・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5

Review 1・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

Unit 4・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・7

Unit 5・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・8

Unit 6・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・9

Review 2・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・10

Unit 7・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 11

Unit 8・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 12

 Review 3・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・13

2 CAN-DOリスト・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14

３ 内容のまとまりごとの評価規準（例）・・・・・・・・・・・・・・・ 15

4 領域ごとの観点別評価の具体場面（例）・・・・・・・・・・・・・・・16

１　単元別指導計画

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Pre UnitI'm Hana. H-a-n-a.p.6～9（２時間） | 同じクラスの友だちに自己紹介ができるようになる。・聞くこと・話すこと［発表］ | ①自己紹介を聞いて、名前や好きなものを聞き取る。②自分の名前や好きなものを言う。③自分の名前をローマ字で書く。④自分の名前のアルファベットを名前読みする。⑤名刺を作って自己紹介をする。 | ※これから始まる単元の目標や見通しをもつことをねらいとしているため、記録に残す評価は行わない。読むこと→自己紹介の際、名前をスペルアウトする。例：I　am Mike. M・I・K・E. Mike.話すこと ［発表］（知・技）→Think and Say 1 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 |  |  |  |  |  |
| 思・判・表 |  |  |  |  |  |
| 態度 |  |  |  |  |  |

本単元では記録に残す評価をしないため、空欄になっています。

本単元では記録に残す評価をしないため、空欄になっています。

本単元では記録に残す評価をしないため、空欄になっています。

本単元では記録に残す評価をしないため、空欄になっています。

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Unit 1My birthday is May 10th.p.10～19（７時間） | 自分の誕生日や誕生日に欲しいものを言えるようになる。・聞くこと・話すこと[やり取り] | ①絵を見ながら月についての音声を聞き、月の言い方や意味を推測・確認する。②行事の名前や開催月を聞く。③行事の開催月をたずねたり答えたりする表現を聞いて、意味や使い方を推測・確認し、友だちとたずね合う。④日付の言い方を理解する。⑤会話から誕生日を聞き取る。⑥誕生日をたずねたり答えたりする表現について推測・確認し、友だちとたずね合う。⑦グループで誕生日カレンダーを作成する。⑧会話から必要な情報を聞き取って、プレゼントを考える。⑨ほしいものをたずねたり答えたりする表現を聞いて、意味や使い方を推測・確認する⑩誕生日やほしいものを友だちとたずね合う。⑪大文字と同じ形の小文字を持つアルファベットを読んだり書いたりする。 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。聞くこと（知・技）→Part 3 Listen and Do 1話すこと［やり取り］（知・技）→Part 3 Activity 2 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆ |  | ☆ |  |  |
| 思・判・表 |  |  |  |  |  |
| 態度 |  |  |  |  |  |

【参考例】

グレーの塗りつぶしが本単元で評価する項目になっています。

また評価した項目には☆マークがついています。

本単元以降、各項目の☆マーク数で累積的な評価回数が分かります。

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Unit 2I study math on Monday. p.20～29（７時間） | 夢の時間割を作り、勉強したい教科を言えるようになる。・聞くこと・話すこと[やり取り] | 1. 絵と結び付けて教科の名前を聞き、意味を推測・確認する。
2. 教科の名前を言う。
3. 好きな教科を聞き取る。
4. 好きな教科をたずねたり答えたりする表現を聞いて、意味や使い方を推測・確認する。
5. グループで好きな教科ランキングを作成する。
6. 好きな教科や理由を聞きとる。
7. 理由をたずねたり答えたりする表現をきいて、意味や使い方を推測・確認する。
8. グループで好きな教科やその理由をたずね合う。
9. 外国の小学生の授業について聞く。
10. 曜日の言い方を復習する。
11. 会話から時間割を聞きとる。
12. 夢の時間割を考えて伝え合う。
13. 大文字と同じ形の小文字を持つアルファベットを読んだり書いたりすることができる。
 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。話すこと[やり取り]については、必要に応じてパフォーマンステストで評価してもよい。話すこと[やり取り]（思・判・表）→Part 3　Activity話すこと[やり取り]（態度）→Part 3　Activity |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆ |  | ☆ |  |  |
| 思・判・表 |  |  | ☆ |  |  |
| 態度 |  |  | ☆ |  |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Unit 3I sometimes walk the dog.p.30～39（７時間） | 家での仕事や日課を示す表現を知り、自分の日課を友だちに伝えられるようになる。・聞くこと・話すこと［発表］ | ①１日の生活を表す動作について、意味や使い方を推測・確認する。②１～60の言い方を復習し、時刻を聞き取る。③動作と時刻を聞き取る。④起きる時刻や寝る時刻などをたずね合う。⑤家での仕事を表す動作を聞いて、知っている単語から意味を推測する。⑥頻度の感覚を身につける。⑦頻度を聞き取る。⑧家での仕事を振り返り、伝える。⑨外国の生活について聞き、概要をとらえる。⑩動作の頻度や時刻を聞き取る。⑪自分の１日の生活について伝える。⑫２階建ての小文字をもつアルファベットを読んだり書いたりする。（例）a b c２階建て１階建て | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。聞くこと（知・技）→Part 3 Listen and Do話すこと[発表]（知・技）→Part 2 Think and Say |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆ |  | ☆ | ☆ |  |
| 思・判・表 |  |  | ☆ |  |  |
| 態度 |  |  | ☆ |  |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| REVIEW 1p.40～41（２時間） | 会話を聞いて、概要を理解し、必要な情報を得る。提示された場面に合う内容を考え、話す。・聞くこと・話すこと[ ［発表］ | ①会話を聞いて、内容に合う絵などを選ぶ。②相手の話に応じて、話す内容を考え伝える。③相手の話に応じて、話す内容を考え伝える。 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。聞くこと（思・判・表）→ ２ 聞くこと（態度）→ ２ 話すこと[発表] （思・判・表）→ ３ 話すこと[発表]（態度）→ ３  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆ |  | ☆ | ☆ |  |
| 思・判・表 | ☆ |  | ☆ | ☆ |  |
| 態度 | ☆ |  | ☆ | ☆ |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Unit 4She can sing well.p.42～51（７時間） | できること、できないことを伝えられるようになる。・聞くこと・話すこと[やり取り][発表] | 1. できることやできないことを聞いて、意味や使い方を推測・確認する。
2. 絵を手がかりに、できることやできないことを聞き取る。
3. できるかどうかをたずねたり答えたりする表現を聞いて、意味や使い方を推測・確認する。
4. できることやできないことを聞いて、情報を整理する。
5. いろいろなことについて、友だちや先生と、できるかどうかをたずね合う。
6. できることやできないことを聞いて、情報を整理する。
7. 第三者について紹介する表現を聞いて、自分のことを表す場合とのちがいに気づく。
8. 友だちや先生とのやり取りで知ったことを第三者に紹介する。
9. 地下１階つきの小文字を持つアルファベットを読んだり書いたりする。

（例）e f g地下１階付き | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。聞くこと（知・技）→Part 3 Listen and Do 2話すこと[発表]（思・判・表）→Part 3 Activity話すこと[発表]（態度）→Part 3 Activity |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆☆ |  | ☆ | ☆ |  |
| 思・判・表 | ☆ |  | ☆ | ☆☆ |  |
| 態度 | ☆ |  | ☆ | ☆☆ |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Unit 5This is my sister.p.52～61（７時間） | 身近な人や、好きな人物を紹介できるようになる。・聞くこと・話すこと　 [やり取り][発表] | 1. 図や絵と結び付けて家族を表す単語を聞いて、意味を推測・確認する。
2. 家族を紹介するロールプレイを行う。
3. 家族の話を聞いて、話に合う絵を選ぶ。
4. 得意かどうかをたずねたり答えたりする会話を聞いて、意味や使い方を推測・確認する。
5. 他者の得意なことの紹介を聞いて、意味や使い方を推測・確認する。
6. 友だちと、いろいろなことについて得意かどうかをたずね合う。
7. 人の性格や特徴を表す語彙を聞いて、絵を手がかりに意味を推測・確認する。
8. 人を紹介するまとまった話を聞いて、必要な情報を得る。
9. 自分の身近な人を紹介する。
10. いろいろな形のアルファベットを読んだり書いたりすることができる。
 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。聞くこと（知・技）→Part 3 Listen and Do 2 話すこと[発表]（知・技）→Part 3 Activity |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆☆☆ |  | ☆ | ☆☆ |  |
| 思・判・表 | ☆ |  | ☆ | ☆☆ |  |
| 態度 | ☆ |  | ☆ | ☆☆ |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Unit 6I want to go to France.p.62～71（７時間） | 行きたい国の魅力を紹介できるようになり、友だちを旅行に誘う。・聞くこと・話すこと・書くこと | 1. 写真や絵と結び付けて、国名やその国の特徴を聞いて、いろいろな国について知る。
2. 国名の頭文字を書く。
3. 行きたい国をたずねたり答えたりする会話を聞いて、意味や使い方を推測・確認する。
4. 自分が行きたい国を言う。
5. いろいろな動詞を知る。
6. 行きたい国やその理由を聞いて、意味や使い方を推測・確認する。
7. 友だちと、行きたい国やその理由をたずね合う。
8. 国でできることを紹介する表現を聞く。
9. 自分が行きたい国に友だちを誘う。
10. アルファベットには2つの読み方があることを理解する。
 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。聞くこと（思・判・表）→Part 3 Listen and Do ２聞くこと（態度）→Part 3 Listen and Do ２書くこと（知・技）→Let’s Read and Write 6 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆☆☆ |  | ☆ | ☆☆ | ☆ |
| 思・判・表 | ☆☆ |  | ☆ | ☆☆ |  |
| 態度 | ☆☆ |  | ☆ | ☆☆ |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |

| REVIEW 2p.72～73（２時間） | 会話を聞いて、概要を理解し、必要な情報を得る。提示された場面に合う内容を考え、話す。・話すこと[やり取り] | 1. 会話を聞いて、内容に合う絵を選ぶ。
2. 会話を聞いて、わかったことを書く。
3. 相手の話に応じて、話す内容を考え伝える。
4. 相手の話に応じて、話す内容を考え伝える。
 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。話すこと[やり取り]（思・判・表）→ ２ ②May役と勧める役に分かれる話すこと[やり取り]（態度）→ ２ ② |
| --- | --- | --- | --- |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆☆☆ |  | ☆ | ☆☆ | ☆ |
| 思・判・表 | ☆☆ |  | ☆☆ | ☆☆ |  |
| 態度 | ☆☆ |  | ☆☆ | ☆☆ |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Unit 7Where's the park?p.74～83（７時間） | 色々なものの場所をたずねたり答えたりできるようになる。・聞くこと・話すこと［やり取り] | 1. 絵を見ながら位置を説明しているのを聞いて、位置を示す語の意味や使い方を推測・確認する。
2. ものの位置をたずねたり答えたりする会話を聞いて、意味や使い方を推測・確認する。
3. ものの位置を言う。
4. 絵を見ながら建物や位置の説明を聞いて、語句の意味や使い方を推測・確認する。
5. 建物の位置を伝える。
6. 図を見ながら道案内を聞いて、表現の意味や使い方を推測する。
7. 友だちと、道案内をし合う。
8. アルファベットの小文字を識別し、見本と同じ文字列を探して書く。
 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。聞くこと（思・判・表）→Part 3　Listen and Do 聞くこと（態度）→Part 3　Listen and Do話すこと[やり取り（知・技）→Part 3 Activity |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆☆☆ |  | ☆☆ | ☆☆ | ☆ |
| 思・判・表 | ☆☆☆ |  | ☆☆ | ☆☆ |  |
| 態度 | ☆☆☆ |  | ☆☆ | ☆☆ |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |
| Unit 8I'd like pizza.p.84～93（７時間） | レストランで注文できるようになる。・聞くこと・話すこと［やり取り]・書くこと | 1. 絵を見ながらいろいろな食べ物の名前を知る。
2. 食べたいものを表す表現を聞いて、使い方を推測・確認する。
3. 自分が食べたいものを言う。
4. 自分が食べたいものを書く。
5. 絵を見ながら味を表す語彙を知る。
6. 飲食店でのやり取りを聞いて、使い方を推測・確認する。
7. 飲食店でのやり取りをロールプレイする。
8. 飲食店でのやり取りで、メニューの内容や金額を聞き、使い方を推測・確認する。
9. 100～999の大きい数字を学ぶ。
10. 金額を聞き取る。
11. 自分が考えたメニューを発表する。
12. アルファベットの小文字を順番に書く。
 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。読むこと（知・技）→Let’s Read and Write 8話すこと[発表]（知・技）→Part 3　Activity書くこと（知・技）→Let’s Read and Write 8 |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆☆☆ | ☆ | ☆☆ | ☆☆☆ | ☆☆ |
| 思・判・表 | ☆☆☆ |  | ☆☆ | ☆☆ |  |
| 態度 | ☆☆☆ |  | ☆☆ | ☆☆ |  |

| 単元名（時数） | 単元の目標及び中心となる領域 | 学習活動 | 評価に関わる言語活動の例 |
| --- | --- | --- | --- |

| REVIEW 3p.94～95（２時間） | 会話を聞いて、概要を理解し、必要な情報を得る。提示された場面に合う内容を考え、話す。・話すこと［やり取り] | 1. 会話を聞いて、内容に合う絵を選ぶ。
2. 相手の話に応じて、案内する場所を考え、道案内する。
3. 場面に応じて、絵の中の人物になったつもりで話す内容を考え言う。
 | ※本単元で、記録に残す評価を行う場合、以下の言語活動で評価をすることが可能。ただし、全ての時間で評価を行うのではなく、言語活動を行う授業で評価をする。話すこと[やり取り]（思・判・表）→ ２ 話すこと[やり取り]（態度）→ ２ →２ |
| --- | --- | --- | --- |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ☆☆☆☆ | ☆ | ☆☆ | ☆☆☆ | ☆☆ |
| 思・判・表 | ☆☆☆ |  | ☆☆☆ | ☆☆ |  |
| 態度 | ☆☆☆ |  | ☆☆☆ | ☆☆ |  |

２ CAN-DOリスト

　　学年ごとの目標を適切に定め、２学年間を通じて外国語科の目標の実現を図るようにすることが大切です。先生と児童がCAN-DOリスト形式の「学習到達目標」を共有し、共通の目標を目指していきましょう。

※教科書p120参照。単元開始時及び終了後、児童と確認していきましょう。

|  |
| --- |
| 聞くこと |
| ア　ゆっくりはっきりと話されれば、で学んだ・を聞き取ることができる。イ　ゆっくりはっきりと話されれば、生活に関することについて、や、、などの具体的なを聞き取ることができる。ウ　ゆっくりはっきりと話されれば、日常生活に関することについて、絵や写真などを見ながら、短い話のだいたいのが聞いてわかる。 |

|  |
| --- |
| 読むこと |
| ア　アルファベットを見て、その読み方（名前読み）を発音することができる。イ　ポスターなどから必要な情報（イベントの時期やなど）を読み取ったり、絵を見ながら絵本のだいたいの内容をしたりすることができる。 |

|  |
| --- |
| 話すこと［やり取り］ |
| ア　コミュニケーションの中で、お願いをしたり、お願いにこたえたりすることができる。イ　日常生活に関することについて、自分の考えや気持ち等を、授業で学んだ表現を使って伝え合うことができる。ウ　自分や相手のことや身のまわりのものなどについて、あらかじめ用意したものだけではなく、授業で学んだ表現を使って、その場でしたり答えたりすることができる。 |

|  |
| --- |
| 話すこと［発表］ |
| ア　日常生活に関することについて、授業で学んだ表現を使って話すことができる。イ　自分のことについて、伝えようとする内容を整理し、授業で学んだ表現を使って話すことができる。ウ　身近でなことがらについて、伝えようとする内容を整理し、自分の考えや気持ちなどを、授業で学んだ表現を使って話すことができる。 |

|  |
| --- |
| 書くこと |
| ア　アルファベットの大文字、小文字を書くことができる。英語の語順を考えたり、語と語の間をあけたりしながら、授業で学んだ表現を書き写すことができる。イ　自分のことや身近で簡単なことがらについて、授業で学んだ表現を使って、例文を参考に、一部を入れかえながら、自分の表現したいことを書くことができる。 |

３　内容のまとまりごとの評価規準（例）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | ［技能］実際のコミュニケーションにおいて、自分のことや身近で簡単な事柄などについて話される簡単な語句や基本的な表現、日常生活に関する身近で簡単な事柄について具体的な情報を聞き取る技能を身に付けている。 | ［技能］実際のコミュニケーションにおいて、活字体の大文字・小文字を識別したり、その読み方を発音したりする技能を身に付けている。 | ［技能］実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ち、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合う技能を身に付けている。 | ［技能］実際のコミュニケーションにおいて、日常生活に関する身近で簡単な事柄や自分のこと、身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話す技能を身に付けている。 | ［知識］　英語の特徴や決まりに関する事項を理解している。［技能］実際のコミュニケーションにおいて、活字体の大文字・小文字を書く技能を身に付けている。 |
| 思・判・表 | コミュニケーションを行う目的や、場面、状況などに応じて、日常生活に関する身近で簡単な事柄などについて話されるのを聞いて、その概要を捉えている。 | 日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び、身の回りの物に関する事柄などについて書かれた簡単な語句や基本的な表現を読んで、意味が分かっている。 | 日常生活に関する身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ち、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合っている。 | 日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分のこと、身近で簡単な事柄についての自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて話している。 | 日常生活に関する身近で簡単な事柄や、自分や相手のこと及び身の回りの物に関する事柄などについて、簡単な語句や基本的な表現を書き写したり、自分のことや身近で簡単な事柄について、書いたりしている。 |
| 態度 | 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語で話されたものを聞こうとしている。 | 主体的に英語で書かれたものの意味を分かろうとしている。 | 主体的に英語を用いて伝え合おうとしている。 | 主体的に英語を用いて話そうとしている。 | 主体的に英語を用いて書き写したり書いたりしようとしている。 |

＜観点別評価について＞

知識・技能…………………………… 知・技

思考・判断・表現………………………思・判・表

主体的に学習に取り組む態度……… 態度

４　領域ごとの観点別評価の具体場面（例）

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
|  | 聞くこと | 読むこと | 話すこと［やり取り］ | 話すこと［発表］ | 書くこと |
| 知・技 | 絵やイラストを結び付ける場面や具体的な情報を聞き取る場面例：p.26、p.27 Listen and Do ① ② | アルファベットの大文字・小文字を識別し、読み方を発音する場面例：Let’s Read and Write | 例を基に、簡単な語句や表現を用いて質問をしたり答えたりして伝え合う場面例：ｐ.17Activity 2 | 例を基に、簡単な語句や表現を用いて表現する場面例：ｐ.37Activity 1 | アルファベットの大文字・小文字を活字体で書く場面例：Let’s Read and Write  |
| 思・判・表 | 短い話の概要を捉える活動例：クイズ活動p.86Listen and Play  |  | 自分の考えや気持ちを伝えたり、簡単な質問をしたり答えたりして伝え合う場面例：ｐ.69Activity 1 | 伝えようとする内容を整理した上で、自分の考えや気持ちなどを話す場面例：p.91 Activity 1 |  |
| 態度 | 振り返りシートの記述等を加味 |  | 振り返りシートの記述等を加味 | 振り返りシートの記述等を加味 |  |

※学年末に評価を総括します。

※各単元、全ての領域・観点について記録に残す評価を行う必要はないですが、３観点をバランスよく評価していくことが重要です。

※聞くこと、話すこと［やり取り］［発表］の「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」を評価する際は、児童の言語活動への取組の行動観察やテキスト記述分析から一体的に評価することが可能です。「態度」については振り返りシートの記述等を加味して評価することも可能です。

※読むこと、書くことの「思考・判断・表現」や「主体的に学習に取り組む態度」については、５年生用の教科書に設定されている言語活動では評価ができないため、６年時に評価をすることとし、空欄にしてあります。各校で実施する言語活動によっては、評価することが可能です。